

平成22年度施政方針の取り組み状況・実績

平成22年度施政方針に掲げられた事業の取り組み状況・実績は次のとおりです。

◆保健福祉施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①子ども医療費助成	子ども医療費助成を小学校6年生まで拡大します。自己負担額は従来どおり1日200円とし、子どもの保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ります。	小学校6年生までを対象に、入院・通院・調剤医療費 32,134千円の助成を行いました。 [対象児童] 平成22年4月～9月：0歳から小学校就学前まで 平成22年10月～平成23年3月：0歳から小学校6年生まで	○	○	こども課
②一時保育	子育て中の家庭の「困った」を応援する制度であり、中央保育園では満2歳から、岩橋保育園では、満6か月からを対象に行い、保育の充実に取り組みます。	利用定員・対象、利用児童数 中央保育園 2人/日（2歳以上） 延60人（3月末現在） 岩橋保育園 3人/日（6月以上） 延192人（3月末現在）	○	○	こども課
③放課後子ども事業	放課後子ども教室は、学校体育館や校庭の活用と教室メニュー等の内容を工夫しながら児童の健全育成を図ります。また、放課後児童クラブは、民設補助の「酒々井児童クラブ」と公設委託の「酒々井小学校しすいっ子クラブ」、「大室台小大ちゃん学童クラブ」の3クラブがあり、円滑な運営が図られるように努めます。なお、公設委託の2クラブは、運営委員会と相互に連絡を取りながら進めます。	放課後子ども教室は、酒々井小学校30日、大室台小学校27日開催し、1日当たり平均して、それぞれ68人、64人の児童の参加がありました。 放課後児童クラブの平均登録児童数は、「酒々井小学校学童クラブ」36人、「大室台小学校学童クラブ」55人、「酒々井児童クラブ」55人	○	○	こども課
④母子保健事業の充実	妊婦健診、心理発達相談など12の事業メニューにより子育て支援に取り組みます。特に、新生児訪問指導は、保健師等が家庭を訪問し、育児相談等、母親への支援を行い、育児不安の解消と虐待の防止に努めます。また、こんにちは赤ちゃん事業は、地域の健康推進員と連携して子育ての状況を把握しながら、安心して子育てができるよう支援します。	母子健康手帳交付145件 新生児訪問指導 67件 マタニティクラス 3回 参加者 21人 ママパパクラス 3回 参加者 20組 乳児相談 12回 4か月児 対象者 57人 受診者 136人（86.4%） 10か月児 対象者158人 受診者 137人（87.6%） 1歳6か月児健康診査 6回 対象者 166人 受診者 152人（91.6%） 3歳児健康診査 6回 対象者 190人 受診者 166人（87.4%） ゆりかごルーム 33回 参加者 延543組 幼児健診事後指導教室 12回 参加者 延130組 心理発達相談 12回 来所者 延28人	○	○	健康福祉課

<p>⑤高齢者福祉及び介護予防施策の充実</p>	<p>高齢者を地域全体で支える「支え合い・助け合うまちづくり」が重要なため、「高齢者がいきいき暮らせる町」づくりに取り組むほか、一人暮らし高齢者への声かけによる様子確認や、緊急時の連絡などを行う「見守り訪問」は、80歳以上から75歳以上の単身世帯に拡大して取り組みます。さらに75歳以上の高齢者夫婦世帯で、一方が要介護状態の世帯に対しても順次拡大します。</p>	<p>75歳以上一人暮らし高齢者、夫婦とも75歳以上で一方が要支援の世帯を対象に、12月から1月にかけて訪問調査を行い、緊急連絡先等の聞き取りを行いました。 訪問数：252世帯を訪問</p>	<p>×</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑥心の健康づくりの推進</p>	<p>介護者の精神的、身体的な負担や悩みごと相談など「心の健康づくり」を推進し、地域包括支援センターと連携を図り介護者を支援します。</p>	<p>地域包括支援センターにおいて「在宅介護者の交流会」を開催しました。 5月28日（金）参加者14名、7月23日（金）参加者18名、9月24日（金）参加者24名、11月4日（木）参加者23名、2月18日（金）参加者21名</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑦生きがいデイサービス事業の充実</p>	<p>生きがいのある生活を送り要介護状態への移行を予防するなど、隣保館を会場に行っていますが、利用者の増加に対応し開催日を1日増やして取り組みます。</p>	<p>H22年5月より社会福祉協議会で毎週火曜日に1日増やして開催しました。 実績 火曜日（社協） 43回 延べ 980人 水曜日（隣保館） 38回 延べ 679人 金曜日（隣保館） 41回 延べ 990人 計 122回 延べ2,649人</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑧介護予防の一般高齢者対策の推進</p>	<p>運動を中心として行うチャレンジ教室は、1地区10回程度開催し、3地区を予定し行います。また、高齢者の総合的な支援を行う、地域包括支援センターの円滑な運営を図るため、連携を密にして取り組み、住み慣れた地域で生活を送れるよう支援します。</p>	<p>チャレンジ教室 1地区 実12人 ダンスダンスダンス 全3回 実23人 認知症サポーター養成講座 全5回 実27人 太極拳 全4回 実21人 口腔機能向上プログラム 全4回 実20人 うつ・閉じこもり予防講座 全24回 実45人</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑨障害者福祉施策の推進</p>	<p>障害者の生活の支援をはじめとした、各種保健福祉サービスの一層の推進を図ります。</p>	<p>障害者自立支援法に基づく、介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具給付、地域生活支援事業を実施しました。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>
<p>⑩健康づくり施策の推進</p>	<p>健康増進事業として、各種検診のほか、健康教育、健康相談、機能訓練等の健康を増進するための事業を行います。また、小学校5年生と保護者を対象とした「いきいきすいっこ教室」を開催し、子どもの時から生活習慣病予防の啓発に取り組みます。</p>	<p>健康手帳の配布 388件 健康教育 12回 172人 健康相談 99件（電話相談含む） 機能訓練 21回 実6人 いきいきすいっこ教室 酒々井小74人 大室台小82人</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>健康福祉課</p>

⑪予防接種事業の推進	麻しんの流行に対処するため、更なる接種率の向上を目標にして行います。さらに65歳以上の季節性インフルエンザワクチン接種希望者や75歳以上の肺炎球菌ワクチン接種希望者への助成など、個人の健康管理と感染症の流行を防止します。	ポリオ 6回実施 接種者291人 BCG 153人 百日せきジフテリア破傷風混合 649件 麻しん風しん混合 1期 147人 2期 170人 3期 172人 4期 121人 (69.5%) 日本脳炎 1,073人 ジフテリア破傷風混合 174人 定期外麻しん風しん混合 4人 高齢者肺炎球菌 88人 高齢者インフルエンザ 2,776人 ヒブ 210人 HPV 134人	○	○	健康福祉課
⑫食育の推進	各家庭教育学級と連携して年4回の食育講習会を実施します。また、食育絵本を活用し知識の普及啓発を行います。	・食育絵本の配布(3歳児健康診査 6回) 対象者190人 配付166人(87.4%) ・食育講習会の実施 4回実施 94人	○	○	健康福祉課

◆教育文化施策

施策(事業)名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①特色ある幼児教育	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる大切な時期であり、この幼児期における教育の重要性を考え、「豊かで特色ある幼児教育の推進」を図るために、私立幼稚園に補助金を交付します。また、保護者の経済的負担の軽減を図るために、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付します。	幼稚園の発表会等で使用するアルミ製ひな段の購入事業、園庭に設置するステンレス製鉄棒の設置事業に対して、それぞれ20万円の補助金を交付しました。また、私立幼稚園就園奨励費補助金として、30,552,400円(対象児童数316人)を支出し、保護者の経済的負担の軽減を図りました。	△	○	こども課
②教育環境の整備と安全確保	・平成22年度中にすべて完了する予定で学校施設の耐震補強工事を進めます。 ・小・中各学校の情報化を進めるために、各教室で活用するパソコンや電子黒板、「校内LAN」等を整備するなど、学校の学習環境の整備を行います。 ・大室台小学校では、遊具の安全性確保のため、新たなジャングルジムを設置します。	・学校施設の耐震補強及び大規模改造工事は、2月末に工事を完了し、町内小中学校施設の耐震化率100%を達成しました。 ・小中学校の情報化関連事業は、8月末にパソコン、電子黒板等の設置、校内LAN整備を完了し、2学期から各校で有効に活用されています。 ・大室台小学校の遊具工事は、ジャングルジム1基を新設するとともに、既存の老朽化した小型遊具3基を撤去し、11月末に工事を完成しました。	○	○	こども課
③教育内容の充実	・学校図書館支援事業は、町公共図書館と学校図書館との連携を町の独自事業として継続して推進します。 ・適応指導教室「ふれあいルーム」の運営、「小・中スクールサポート事業」、「教職員の特色ある教育活動支援事業」などに取り組みます。なお、新規事業として、小学校3・4年生の児童が使用する「社会科副読本」を作成します。	・学校図書館支援事業は、各学校への図書アシスタントの配置及び町公共図書館との連携により、学校図書館の充実を図りました。月間一人当たりの貸出冊数が、平成21年度の1.6冊から、今年度は2.7冊と大幅に増加しました。 ・適応指導教室「ふれあいルーム」と学校の連携により、1学期間1度も登校できていない生徒(全欠生徒)が週に一度、継続してふれあいルームに通えるようになる等、子ども一人一人に応じた効果的な運用ができました。 ・「小・中スクールサポート事業」及び「教職員の特色ある教育活動支援事業」の実施により、きめ細かな少人数指導が可能となる等、各学校の実態に応じた特色ある教育活動を実施しました。 ・「社会科副読本」を1000部作成し、各小学校3・4年生の全児童に配布しました。	○	○	学校教育課

④国体デモンストレーション行事の支援	<p>本年10月に「ゆめ半島千葉国体」が開催され、当町では、デモンストレーションのスポーツ行事として、「パークゴルフ競技」が10月2日に開催されますので、実行委員会により実施に向け取り組みます。</p>	<p>実行委員会やパークゴルフ競技運営委員会、さらにプレ大会を開催し、国体運営が円滑に進むように準備を進め、10月2日の本大会には、県内から303名の参加者を迎え盛大に開催することができました。 また、大会を盛り上げるため、各種団体の協力により花いっぱい運動・炬火・採火事業も併せて実施しました。</p>	○	○	社会教育課
⑤文化財保存事業の実施	<p>史跡本佐倉城跡の本格的な復元整備事業に向けて、「基本設計書」の作成を事業期間2か年で取り組みます。また、町内の景観資源の基本調査を2か年にわたり実施します。</p>	<p>史跡本佐倉城跡の「基本設計書」の作成に関しては、本格的な復元整備に向けて与条件の確認及び調査、課題の整理、基本的方針の設定、諸施設の検討及び設定（基本図の作成）など整備計画の基となる部分の整理や検討を実施し、来年度はそれらに基づき図面・設計等を作成していく予定です。 景観資源基本調査では専属の文化財調査員1名・調査補助員2名を雇用して事業実施にあたり、本佐倉城関連の資料の収集や図面作成、資料・書籍の電子化を実施しました。 また、未整理であった町内古文書の整理や社寺内の樹木調査、指定文化財の写真作成やデジタル化を実施しました。公開・活用事業では古文書等の資料整理を行った江戸時代の寺子屋「青樹堂」の速報企画展示を3月23日から中央公民館ホールにて実施しました。</p>	○	○	社会教育課
⑥史跡ウォーキングの実施	<p>史跡ウォーキングは、回を重ね定着していますが、貴重な文化財等や自然環境などの町内外への周知等、ボランティアガイドと協働で取り組みます。</p>	<p>ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会文化プログラム参加事業として位置付け、ふるさとガイドや郷土研究会と実行委員会を組織して10月24日（日）に実施しました。114名の参加があり、解説付団体歩行により本佐倉城跡を中心に周辺関連史跡を巡る約6kmのコースを散策し、コース各所では協力団体の解説やおもてなし（おにぎり、ふかし芋などの配布）が行われました。</p>	○	○	社会教育課
⑦生涯学習の推進	<p>青少年の健全育成のため、順天堂大学との連携や、青少年相談員事業と共催し各種事業を実施します。</p>	<p>地域の教育力を活用し、順天堂大学に委託しての生涯学習公開講座を実施しました。酒々井町15組35名、印西市13組28名の申込みがあり、全4回とも82.5%以上の出席がありました。 アンケート結果からは、71%の参加者が「満足である。」と回答され、「次回も参加の意思があるか。」の問いでは、62%が「参加する。」、38%が「たぶん参加する。」との回答でした。 第1回58名・第2回53名第3回62名・第4回52名（延べ：225名）</p>	△	○	社会教育課
⑧所蔵電算新システムの導入	<p>プリミエール酒々井では、所蔵資料や利用者管理などを行っている電算の新システムを導入します。</p>	<p>平成22年8月5日制限付一般競争入札を行い、落札業者と平成22年9月1日に新システム賃貸借及び保守委託契約を締結しました。機器等の入れ替え作業及び職員の操作研修を平成22年12月15日から28日までの臨時休館中に実施し、平成23年1月5日から新システムでの運用を開始しました。</p>	○	○	プリミエール酒々井

◆生活環境施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①消防・防災事業の充実	「小型ポンプ積載車2台」と「小型ポンプ2台」の更新、さらに無水利地区解消のため、上岩橋地先に「40㎡の防火水槽1基」を新設します。また、防災備蓄品の更新等整備を図ります。	①第3分団（墨）、第9分団（柏木）の小型動力ポンプ付積載車の更新を行いました。 ②上岩橋地先に防火水槽1基を設置しました。 ③防災備蓄品として、災害用備蓄食糧品、災害用敷きマット等を購入しました。	△	○	総務課
②中川流域防災事業	懸案である中川流域防災事業について、一日も早く被災地域の水害リスクの軽減を図るため、内水外水対策を実施します。	中川流域の治水対策に関する庁内検討会の報告を受け、今後の治水対策の方向性について、12月定例議会において行政報告を行い、その内容を町ホームページや回覧により公表しました。さらに1月の臨時議会全員協議会で再度内容説明を行いました。 今後は、流域住民の皆様と話し合いを進めながら、雨水対策条例等の制度設計の検討を行います。	△	△	まちづくり課
③交通安全・防犯事業の推進	交通安全・防犯は、「安全・安心まちづくりパトロール事業」を新規事業で実施します。また、交通安全対策事業として、危険交差点、危険か所等の除去を進めるほか、交通安全施設の整備及び維持管理を行います。	①「安全安心まちづくりパトロール事業」については、7月から警備会社に委託し、警備員4名により町内全域のパトロールを実施しました。 ②交通安全対策事業については、横断歩道設置や信号機の設置について警察に要望しました。信号機については、国道51号伊篠地先、町道交差点に信号機が設置されました。また、注意看板等の設置を行いました。	○	○	総務課
④環境家計簿の配信	省エネを心がける等、一人ひとりの取り組みが必要なため、温室効果ガスの削減について考えることのできる「環境家計簿」をホームページにより配信します。	「環境家計簿」を作成し、現在ホームページにて公開中です。なお、平成23年3月には、「環境家計簿」（2011年版）に更新し、計算式に係る排出係数等を直近の数値に変更しました。	○	○	生活環境課

◆都市基盤施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①まちづくり施策の推進	（仮称）酒々井インターチェンジへのアクセス道路に係る調査、工事等を行います。また、町道3路線の道路改良の実施のため、測量、設計、調査、用地購入等を実施します。このほか、新規事業として、南酒々井橋の耐震補強及びはく落対策を行い、町管理橋梁は長寿命化修繕計画を策定します。	（仮称）酒々井インターチェンジへのアクセス道路に係る盛土工事、高崎川構造物工事を実施しました。 また、馬橋地区、本佐倉地区、上岩橋地区の幹線町道について、道路改良実施のための設計、用地測量を実施しました。 このほか東関東自動車道に架かる南酒々井橋、平台橋2橋についての耐震補強設計及び剥落対策工事をNEXCO東日本に委託しています。	△	△	まちづくり課

②駅エレベーターの設置	<p>JR酒々井駅自由通路の西口（中央台側）にエレベーターを1基設置します。駅構内には、JR東日本が設置するので、費用の一部を補助します。</p> <p>さらに、京成酒々井駅には、東口（中央台側）に1基、構内と合わせ計3基のエレベーターを京成電鉄株式会社が設置するので、費用の一部を支援します。</p>	<p>・JR酒々井駅自由通路東口1基・・・平成22年5月供用開始</p> <p>・京成酒々井駅改札内2基、改札外東口1基・・・平成22年12月供用開始</p> <p>・JR酒々井駅改札内2基・・・平成22年12月供用開始</p> <p>・JR酒々井駅自由通路西口1基・・・平成23年2月供用開始</p> <p>実績：100%</p>	○	○	経営企画課
		<p>JR西口エレベーターは、平成21年度に実施設計を行い、昨年8月に工事を発注、本年2月2日から供用を開始しました。</p>	○	○	まちづくり課

◆産業経済施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①商工業の振興	若手後継者育成事業等商工業の振興を図るため、町商工会に対して補助金を交付します。	商工会事業補助金（380万円）及び商工業推進事業補助金（45万円）を交付しました。	○	○	産業課
②農業の振興	新政権による「戸別所得補償制度」等農業政策が大きく転換されようとしていますので、動きに注視します。 また、地域特性を活かした都市型農業への転換検討とともに、6次産業の育成などに取り組みます。	平成23年度から実施する戸別所得補償制度について、水稲作付者254名に啓発用パンフレットを配布しました。また、農家組合長を通じ、農業者戸別所得補償交付金交付申請書・戸別所得補償制度パンフレットを農家組合員に配布し、加入促進に努めました。 都市型農業への転換及び6次産業の育成については、地産地消を推進するため、農産物直売所、朝市組合及び味だより等と連携を密にし、新鮮な農産物及び加工品の販売の促進に努めました。	○	○	産業課
③観光の振興	町の特産品の周知PRのほか、順天堂大学裸まつりの開催を支援します。また、町のホームページ内観光情報の充実等を図るほか、観光マップを増刷します。	平成22年度の順天堂大学裸まつりは6月6日（日）に行われ、今年で23回目を迎えました。寮生約450人が3基の樽御輿を担ぎ、町内をエネルギーに練り歩き、和太鼓演奏が加わり、祭りを盛り上げました。 また、町ホームページの観光情報の更新等を随時行うとともに酒々井タウンガイドの増刷（加筆修正含む）を2,000部行いました。	○	○	産業課

◆地域社会と行財政施策

施策（事業）名	施策等概要	計画・実施状況	上半期進捗	年度末実績	担当課
①住民参加・協働施策の推進	東酒々井1丁目に移設した「井戸端」を拠点として、高齢者のとじこもりの防止や話し合い、情報発信等、地域の皆さんが互いに知り合い交流を深めることのできる場となることを期待し、また、その活用や運営等、利用者の意見を伺いながら、誰もが活動に参加しやすい拠点づくりを進めます。 また、協働の基本的な方向性など、会議及び調査・研究等を重ねて、町民と町との協働の指針づくりを進めます。	「井戸端」平成22年度利用実績（延べ） 団体 1,159人（163件） 個人 4,531人（うち60歳以上3,471人） ・酒々井の魅力再発見シンポジウム 平成22年11月27日実施（参加者）220名 ・協働の指針づくり実績（協働のまちづくり研修会）平成22年6月23日実施（参加者）一般：36名、職員：34名、平成22年8月5日実施（参加者）職員：27名、平成23年2月24日実施（参加者）職員：11名、平成23年3月3日実施（参加者）職員：14名	○	○	住民協働課
②総合計画策定に向けた取り組み	次期計画の策定に取り組み、本年度は、アンケート調査などの基礎調査を実施します。	町民意識調査：7月12日～26日実施。20歳以上の男女2,000人対象。回収率41.5% その他、トップインタビュー、職員アンケート、議員インタビュー、地域別懇談会、分野別懇談会、総合計画懇談会、中学生と町長とのまちづくり意見交換会等を実施しました。 成果品：町民意識調査報告書（印刷用原稿）、基礎調査報告書（6部）、基本構想素案（6部）、関係資料一式、電子媒体（指定形式）一式	○	○	経営企画課
③国勢調査の実施	国勢調査が10月1日を基準日として実施されることから、当町においても、すべての人を対象に実施します。	平成22年10月1日を基準日として、当町に割り当てられた155調査区を114人の調査員により国勢調査を実施しました。 人口及び世帯数（国勢調査千葉県速報（独自）集計の結果） 【人口】21,235人（-150人） 【世帯数】8,568世帯（+322世帯） ※カッコ内の数値は平成17年国勢調査との比較	○	○	経営企画課
④情報管理と情報発信力の強化	地上デジタル放送へのスムーズな移行支援のほか、町ホームページの充実及び庁内のIT化を図り、情報発信力の強化に努めます。	①地上デジタル放送の難視地域の新堀地区において、デジサポと協力し説明会等を実施しました。地区の難視対策協議を支援し、難視対策が決定される等解決に向けて大きく前進しました。 ②町ホームページは各部署において多彩な情報を迅速かつ円滑に発信していくためのコンテンツマネジメントシステム（CMS）を導入するための準備を行いました。	○	○	総務課
⑤税の確保	平成24年度の評価替の基礎資料として、「土地鑑定評価業務」、「航空写真撮影業務」を実施します。	平成24年度の評価替えの基準日は平成23年1月1日現在であるため、その価格決定のための標準宅地の現地調査を行いました。（鑑定地点 町内77地点）また、航空写真についても、基準日現在の状況を撮影するため、12月末に撮影を行いました。	○	○	税務課

※記号標記

上半期進捗：○実施済又は実施中、△一部実施又は年度内実施予定、×未実施又は検討中、－その他（該当なし等）

年度末実績：○実施済、△一部実施済、×未実施、－その他（該当なし等）